



天文台だより

銀河の森天文台
2020 秋号
Vol. 89



大彗星になったネオワイズ彗星を観測！

7月19日(日)の夜、肉眼彗星となって話題になっていたネオワイズ彗星(C/2020 F3)を観測しました。19日の陸別は久々の快晴で話題の彗星を見るためにたくさんの来館者がありました。ネオワイズ彗星は7月初旬のピークよりは暗くなっていますがまだ肉眼でもはっきり見え、尾が長く伸びた彗星を見て感動の声が聞こえてきました。左の画像は7月19日に銀河の森天文台で観測したネオワイズ彗星です。この彗星は、今年の3月にNASA赤外線探査衛星NEOWISEによって発見され、7月4日(日本時)に近日点を通過しました。次回に太陽に近づくのはおおよそ6,700年後と計算されています。

8/12(水)、ペルセウス座流星群を観測！

今年の8月12日(水)はペルセウス座流星群の極大日にあたり、陸別は快晴で、観望会に参加した方々は夜空に流れ星が現れる度に歓声を



上げていました。

薄明が終わり、月が昇る前のひとは天の川もきれいに見え、お客様も時間を忘れて満天の星空を見上げていました。右の画像は、天の川に沿うように流れた流星を観測したものです。画像上部に流星が写っています。ドームの上に明るく写っている星は木星です。

「館長コラム」 上出洋介(牡牛座)

私たちの祖先が、宇宙に漂っていた石ころの上に生まれたのは、宇宙の歴史から見れば、ホンの一瞬のことにすぎません。しかし、そういう意味では、仲間であるウイルスが人類に猛威を振るい、世界の政治、経済に悪戯を仕掛けてきた例も多いことを思い出します。世界史で学んだだけでも、ペスト、天然痘など、感染症の種類は数多く、人間様から見れば、これらの異様な生き物が自分の体内に存在し、増殖すること自体「気持ち悪い」気がしますね。お互い、「平和共存」できればいいのですが。

共存どころではありません。人間の作った「飛び」道具が流行を助けているとも見えます。ジェット機で、ほんの数時間程度で、世界中でクラスター、パンデミックを伝搬させてしまいます。また、ウイルスを弱めたワクチンを開発して流行を抑えようとしているのも人間です。人間は、よくわからない生き物ですね。

自然現象も然りです。人間との対決が日々の変化を生み出します。自然の猛威は「激甚」さを増し、最近の天気予報に、「100年に1度の雨量」とか、「生命を守る行動をとること」などの注意事項が並ぶようになりました。

注目すべきことは、人間の心や考え方のみならず、世の中は矛盾にあふれているということ。雨が嫌いな都会のサラリーマンがいるかと思えば、雨が欲しいお百姓さんもいることです。最近では、何と言っても新型コロナの猛威で、数時間のうちに世界中に広まります。日本は、中緯度にあるため、カラフルな変化に富む四季、ジェット気流など、独特の現象を楽しむことができる代償として、高緯度と低緯度の境界に非線形現象が発生し、この非線形現象こそ、天気予報に「今までに経験したことのない」とか、「生命に危険を及ぼす風雨が暴れる」などが、局所化された狭い場所に突然発達します。日本はこのちょうど「いいところ」に存在しており、いろいろな矛盾を直接経験し、そして考えることができます。科学館を、このような「矛盾」の場の議論に使ってください。

「驚き！おもしろ科学実験2020」 開催中止のお知らせ

11月7日(土)に開催を予定していましたイベント「驚き！おもしろ科学実験2020」ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止となりました。

安心安全を最優先に考えての決定に何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

暦表

(陸別町)

秋は火星が見頃です！

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
10月 1日	5:19	17:10	13.7	17:12	4:18
10月 15日	5:35	16:46	27.7	3:01	16:16
11月 1日	5:57	16:20	15.3	16:45	6:13
11月 15日	6:15	16:04	29.3	5:49	16:12
12月 1日	6:34	15:54	15.9	16:21	7:12
12月 15日	6:47	15:54	0.4	7:13	16:16



今年の火星はうお座の中で明るく輝き、10月6日に地球と最接近し、10月15日に衝を迎えます。この時期、大型望遠鏡では火星の模様を観察することができます。ぜひ、ご来館ください。

天文行事&暦

10月

- 1, 2 名月観望会
- 1 中秋の名月
- 2 ○満月
- 水星が東方最大離角
(光度:0.1等, 離角:25°.8)
- 6-18 火星観望会
- 6 天文台特別開館
- 火星が最接近
(光度:-2.6等, 視直径:22".6)
- 8 寒露(24節気:太陽黄経195°)
- 15 火星が衝
(光度:-2.6等, 視直径:22".3)
- 17 ●新月
- 23 霜降(24節気:太陽黄経210°)
- 28-31 ハロウィンナイト観望会
- 31 ○満月

11月

- 1 天王星が衝
(光度:+5.7等, 視直径:3".8)
- 7 立冬(24節気:太陽黄経225°)
- 12 水星が西方最大離角
(光度:-0.6等, 離角:19°.1)
- 15 ●新月
- 17 しし座流星群が極大
(PM7時 最大15個/時)
- 22 小雪(24節気:太陽黄経240°)
- 30 ○満月

12月

- 7 大雪(24節気:太陽黄経255°)
- 12-14 ふたご座流星群観望会
- 14 天文台特別開館
- ふたご座流星群が極大
(AM9時 最大60個/時)
- 15 ●新月
- 21 冬至(24節気:太陽黄経270°)
- 30 ○満月

☆ハロウィンナイト観望会

ハロウィンにちなみ、観望会を開催します。説明会はありませんが、期間中、仮装してご来館いただくと、素敵なプレゼントを差し上げます。

開催日: 10月28日(水)~31日(土)

☆ふたご座流星群観望会

ふたご座流星群が12月14日午前9時に極大を迎えます。14日(月)も特別開館し、観望会を開催します。

開催日: 12月12日(土)~14日(月) ※14日:特別開館
説明会: 午後7時30分から

ペッコカめぐり「宇宙からの身近な飛来物」

今年の夏は千葉県に落下した隕石が話題になりました。身近に隕石が落ちてくることはめったにありませんが、地球には流星塵として年間数万トンもの物質が降っています。流星塵は文字どおり流星から生まれた塵で、直径0.1mm以下程度の小さな粒です。比較的簡単に採取することができますが、採取したものには地上由来のものが混ざっていて、それが宇宙から来たものなのかを判断するには成分の分析をしなければなりません。採取できる流星塵はほんのわずかかもしれませんが、私たちの身近なところにも宇宙からの物質が降ってきているのは確かなのです。(中)

天文台からのお知らせ

- ☆ 10月より開館時間が、13:00~21:30となります。
(昼間13:00~17:00、夜間17:00~21:30)
- ☆ 10月6日、12月14日は月・火曜日ですが、特別開館いたします。
- ☆ 年末年始12月28日(月)~1月5日(火)の期間は、天文台休館日となります。

秋のイベント情報 !!

☆名月観望会

今年は10月1日が中秋の名月で、2日は満月です。お月見にぜひご来館ください。

開催日時: 10月1日(木)、2日(金)
説明会: 午後7時30分から

☆火星観望会

今年、2年2か月ぶりに火星が接近します。最接近日の10月6日も特別開館し、観望会を開催します。火星の模様を見るチャンスです。ぜひご来館下さい。

開催日: 10月6日(火)~18日(日) ※6日:特別開館
説明会: 午後7時30分から(6日、土曜・日曜のみ)

天体そもそも話「月」

今回は「月」についてのお話をしていきたいと思います。月は地球に最も近く、地球を除けば人類が唯一降り立ったことがある天体です。

「月」の漢字は三日月を元にした象形文字、「つき」の読みは太陽の「次」に輝くからと考えられています。一方で英語の「moon」は元を辿ると、「計る」という意味だったと推測されています。これは時間のスケールを計るために、およそ29.5日で一周する月の満ち欠けを利用していたからだと考えられます。農耕や漁業といった食料調達の手段に密接に関わるため、月の満ち欠けを基準にして暦を決める方法は洋の東西を問わず行われてきました。その習慣が今でも残り、「年」と「日」の間の単位として「月」が使われているのです。

月といえばお月見ですね。今年の中秋の名月は10月1日となります。ぜひ空を見上げてみましょう! (三)

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100

URL: <https://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp Twitter: @ginganomori_obs

